

趣旨・目的

本村は、長大な海岸線とイソー、背後の山並み等、恵まれた自然環境のもと古くから農漁業や暮らし、集落のたたずまい等の景観を育てており、これらは観光リゾートにおけるかけがえのない資源となっています。

とりわけサンゴ礁は、漁業や観光業の重要な資源であり、本村の大切な宝です。しかし、近年はオニヒトデの大量発生、赤土等の流出、海水温の高温化によるサンゴ白化現象等により、サンゴ礁が減少している状況です。

そのため、村民一人ひとりの自然環境に対する意識の向上を図り、本村の豊かな自然環境の保全と育成を行い、地域資源を活かした「恩納ブランド」の確立に向けた「サンゴの村宣言」プロジェクトに取り組むこととしました。

宣言の日

2018年7月21日「第35回うんなまつり」で宣言



ロゴ・キャラクター



名前
さんな
Sunna ちゃん

- 「やさしさ」で繋がる恩納村
- サンサンと降り注ぐ太陽
- どこまでも広がる青空
- 恩納村に溢れる自然の緑
- 穏やかに流れる海
- 海中に生きる色とりどりの美しいサンゴ

- 恩納村の豊かな自然環境を守るために生まれたサンゴの妖精
- 自然環境の保全と育成の大切さを愛らしい笑顔でアピール♪
- 太陽の“Sun”、サンゴの“サン”、恩納の“na”、「S」を取ると“unna”（うんな）
- プレスレットは恩納村特産品の海ぶどう

サンゴのむらづくりに向けた行動計画

環境負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築に向け、以下のように基本理念を位置づけます。

1 やさしさと誇り（普及啓発に関する事業）

- ・イメージキャラクター作成及び活用事業
- ・サンゴの村フェスタ
- ・環境関連データのモニタリング調査の実施
- ・世界一を発信する取り組み
- ・デジタルコンテンツ導入事業

2 人づくりと協働（人材育成に関わる事業）

- ・総合的な学習の時間でのサンゴに関する学習の実施
- ・絵本製作事業
- ・サンゴや海辺の生き物に関する学習会の開催
- ・サンゴの写真展、パネル展示等の開催

3 交流と活力（産業振興に関わる事業）

- ・漁港施設内における環境美化事業
- ・漁港施設利用のルールづくり
- ・コープでの恩納村PR事業
- ・サンゴの歌の普及
- ・産業振興に関わる人材育成

4 共生と持続（環境保全、事業継続に関する事業）

- ・赤土等流出防止営農対策促進事業
- ・赤土等流出防止活動支援事業
- ・エコクーポン事業
- ・水産多面的機能発揮対策事業
- ・サンゴに優しいライフスタイルの提案

サンゴの村宣言プロジェクト

実施体制



関係団体との連携

これまでサンゴ礁保全に取り組んでいただいている「恩納村漁協」「恩納村コープサンゴの森連絡会」「チーム美らサンゴ」に加え、「サンゴ礁保全再生活動地域協議会」「里海づくり推進協議会」「地域づくり推進委員会」「庁内プロジェクトチーム」等と連携を図り、村民・事業所・関係機関での一体的な取り組みによる事業を推進してまいります。

今後の取り組み

- Green Fins（グリーンフィンズ）の導入
- SDGsによるまちづくりの推進
- ローカル認証制度の導入

